

中道往還(煮貝の道) 第4回 朝霧高原～狩宿の下馬桜

- ・開催日 2016年7月21日(木)
- ・コース 朝霧高原道の駅(トイレ)
↓
人穴(トイレ)
↓
ミルクランド(昼食、トイレ)
↓
若獅子神社
↓
曾我の隠岩
↓
狩宿の下馬桜(トイレ)

- ・距離 約16Km
- ・解散 狩宿の下馬桜発 15:30頃
- ・担当者 多賀純夫 大嶋俊壽

甲府から二つの難所、迦葉坂、女坂を越え、青木ヶ原樹海を抜け、中道往還は上井出宿に向かいます。上井出宿は若彦路との合流点でもあり、富士登山への要の場所でもあります。最初に向かうのは人穴、富士山岳信仰の開祖と言われる長谷川角行が厳しい修行をし、啓示を得、入滅した場として伝わり、富士講信者の聖地とされています。

今回のテーマ「煮貝」からは少し外れますが、若獅子神社を訪れます。ここにはかつて陸軍少年戦車兵学校があり、ここで訓練した少年たちが南方に向かいました。若獅子の名のもとに戦い、殉じた陸軍少年戦車兵の教官、生徒六百有余の御霊を御祭神として昭和59年に創建されました。展示されている戦車はサイパン島から終戦三十年後に帰還された機甲部隊の主力九七式中戦車です。

頼朝は征夷大將軍になった翌年の建久4(1193)に富士の裾野で大々的な牧狩りを主催しました。曾我祐成、時致兄弟が父祐泰の敵工藤祐経を討ったのはこの時でした、仇討のため隠れていた曾我の隠岩、敵の工藤祐経の墓などを訪れます。この牧狩りの際頼朝が本陣をおいたのが出井家で、牧狩りを終え陣屋に戻り、下馬して門前の一本の山桜に馬を繋いだことから「狩宿の下馬桜」または「駒止めの桜」とよばれています。

